

坂口 安紀
(中南米総合研究
プロジェクト・チーム)

ノース・サウス・センターは、1984年に設立された、マイアミ大学付属のラテンアメリカ研究所(社会科学系)である。大学キャンパスとは離れており、マイアミ市内からは車で約30分の高級住宅地にあるコロニアル風の3階建ての建物である。現在27人のラテンアメリカ研究者が研究・広報活動を行なっており、所長は設立以来元パナマ大使のDr. Ambler H. Moss, Jr.が務めている。「ノース・サウス」というのは、いわゆる「南北問題」という意味ではなく、「南北アメリカ」に関する研究所という意味である。

ノース・サウス・センターは独立の研究所としての歴史は浅いが、マイアミ大学内でのラテンアメリカ研究の蓄積を引き継いでおり、活動内容は多岐にわたり、活発である。定期刊行物としては、写真を多用した美しい情報分析誌 *North-South* とそのスペイン語版 *Norte-Sur* (両方とも隔月刊行), 毎号一国に焦点を当てたニュースレター *North-South FOCUS* とクロスカントリーに一つのテーマを掘り下げた *North-South ISSUES* (上記二つは交替で隔月刊行), マイアミ大学発行で30年以上の歴史をもつ *Journal of Interamerican Studies and World Affairs* (季刊) を刊行している。それらの定期刊行物に加え、研究成果として年約30冊の書物が出版されている。近年は、貿易・投資、債務、民主化、民営化、麻薬、環境など、ラテンアメリカに関するカレントなテーマが主要研究課題となっている。

ノース・サウス・センターは、諸大学、研究機関以外にも、ビジネス、政策担当者、市民組織など、ラテンアメリカに関心のある幅広い層の人たちとの

交流をめざしている。たとえば、ふだんの研究活動に加え、市民団体やビジネス界とのジョイント・プロジェクトを実施したり、センター所属の研究者の担当地域、テーマをリストにして公開し、外からのレファレンスに即座に対応できる体制を整えている。また同センターでは、国内外の研究者との交流を進めているが、その一環として研究奨学金制度を設けている。1991年以来、51の研究プロジェクトに対して奨学金（平均4.3万ドル）が付与されてきた。

ノース・サウス・センターで特筆すべきは、同センターの Info-South システムである。Info-South は、ラテンアメリカで出版される、またラテンアメリカに関する1200以上の新聞、雑誌、学術雑誌をカバーするコンピューターによる索引システムである。トピック、タイトル、国、著者による索引ができるのみならず、その記事内容の英文要約もコンピューターの端末画面で見ることができる。また、原典記事の郵送も有料で引き受けている。それに加え93年からは、ラテンアメリカの団体、組織、著名人のリスト (Who's Who) と、キューバの新聞 *Granma* に絞った記事索引もデータベースに導入された。Info-South システムは、Internet ネットワークに加入しているコンピューター端末があれば、日本からもアクセス可能である。

North-South Center, University of Miami
1500 Monza Avenue, Coral Gables,
Florida 33146-3027, USA
phone : 305-284-6868
fax : 305-284-6370